

食品業界向け、3分の1の低価格・簡単操作 3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」を発売

オプテックス・エフエー株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：小國勇）は、2012年4月上旬、子会社の日本エフ・エーシステム株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小國勇）と共同開発した3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」を発売します。

3D画像検査装置「3D-Eye5000シリーズ」は、3Dカメラとレーザー光源により、対象物の表面形状を計測・検査し、外観不良を検出するシステムです。当社が得意とする食品業界向けに専用開発し、低価格と簡単操作を実現しました。（価格は従来シリーズの3分の1以下の300万円からです。）

食品業界では、従来方法として光電センサや二次元画像センサなどを用いて検査していますが、小さな欠けや割れ検査ができない、光沢や色など表面状態の影響を受ける等の問題がありました。また、従来の3D検査装置は超高速・高精度のものがありますが、取り扱い操作と価格の面で、現場ではあまり普及していませんでした。

本製品は、低価格と簡単操作を実現したことで、食品業界での長年の課題の解決にお役にたてる3D検査機です。検査用途としては、以下のものなどがあげられます。

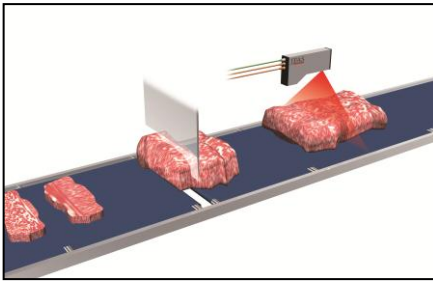
- （1）クッキー・ビスケット・せんべいなどの割れ欠け検出
- （2）まんじゅう・チョコレートなどの形状不良検出
- （3）カップアイスクリームの充填量検査
- （4）肉、魚の切身の重量予測検出

今後もオプテックス・エフエーは「高品質、だけど低価格。」を営業方針として、お客様の利益向上につながるFA製品を開発してまいります。

<製品写真>



<測定例>食肉工場ラインでの体積検査



■ 国内販売数目標（2012年）：30台

■ 価格 300万円～

■ 仕様

型式	3D-Eye 5000-30	3D-Eye 5000-50	3D-Eye 5000-100	3D-Eye 5000-200	3D-Eye 5000-300
高さ検出範囲 (mm)	200～233	184～268	260～410	265～660	280～1200
高さ分解能 (mm)	0.015	0.04	0.05	0.2	1.2
幅検出範囲 (mm)	60～68	135～180	180～270	440～810	440～1400
幅分解能 (mm)	0.06～0.07	0.13～0.18	0.18～0.26	0.43～0.79	0.63～2.00
外形寸法 W×D×H(mm)	310.7×69.1×161.7			403.7×69.1×161.7	

■ 会社概要

オプテックス・エフエー株式会社（2011年12月末現在）

設立：2002年1月7日

代表取締役：小國 勇

資本金：551百万円

事業内容：ファクトリーオートメーション用光電センサ関連機器、装置の
製造・販売等

売上高：45億66百万円（2011年12月決算）

従業員数：100名（連結）79名（単体）

【本件に関するお問合せ先】

オプテックス・エフエー株式会社 【JASDAQ：6661】

総務課 広報 IR 担当 伊藤 誠 (E-mail: m-ito@optex-fa.com)

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91 京都リサーチパーク 9号館 5F

TEL: 075-325-2930 FAX: 075-325-2931

URL: <http://www.optex-fa.jp>